

## 1 学校教育目標

- ◎思いやりのある子ども
- ◎自ら考え学ぶ子ども
- ◎たくましい子ども
- ◎ふるさとを大切にする子ども



### ◇校訓・伝統精神

【小】 ○至誠 ○勇氣 ○規律                      【中】 ○正義 ○勇氣 ○根気

## 2 次代を担う子ども像（めざす子ども像）

- 自律的に行動し、よりよく人と関わる子ども
- 自ら考え学び、豊かに表現する子ども
- 地域を大切にしながら、夢に向かって挑戦する子ども

豊田小中一貫校は、3つのキーワード「自律」、「夢」、「地域」を柱として、本地区のこれまでの歴史や文化、伝統、地域住民の思いや願いを受け継ぎ、子どもたちがこれからの時代を生き抜くために、「多様な人々と協働し、様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な未来社会を切り拓いていくための資質・能力」を育成し、「よりよい学校教育を通して、よりよい社会を創る人間を育てる」新しい学校（小学校併設型中学校）を創っていく。

また、地域の人々から愛され、地域に根ざした教育を進め、児童生徒、教職員、保護者、地域住民が、互いのパートナーとして、共に成長し、共に地域を創るという理念に立った学校創りを推進する。

## 3 めざす学校像

- 心と心が響き合う学校
- 生き生きと学び合う学校
- 保護者や地域から信頼され、地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）

## 4 めざす教職員の姿

- 情熱と愛情をもち、あきらめない教職員
- 子ども・保護者・地域に寄り添う教職員
- 豊かな人間性をもち、資質・能力の向上に努める教職員

## 5 学校経営構想

### 【豊田小中一貫校として】

令和4年度の様々な取組を経て、令和5年度は、豊田ならではの教育をさらに推進する。豊田小中一貫校における共通の学校経営基本理念は以下のとおりである。

児童生徒一人一人に「生きる力」を育み、「自律的に行動し、夢を持ち続け、地域とともに育つこの育成」に務める。子供たちが生き生きと活動し「学校に来てよかった、また学区に来たい」と思える日々を創っていく。「すべての教育活動は児童生徒を育てるために」を基本理念に一人一人を大切にしたい学校経営をしていく

昨年、行事を中心に小中の連携を深めてきた中で、「併設型小中一貫校」の良さを生かすためには、小中それぞれの発達段階を踏まえた連携が重要であることに気づくことができた。それらの経験を参考に、5年度の取組を、今後の豊田小中一貫校における持続可能な教育活動へと進化させたい。

また、地域連携についても、小中9年間の学びをつなぐ「豊学」を中心にさらに推進したい。各教科・領域において、豊田を題材とした学習や3つのキーワードを意識した学習の構築を進める。特に、中学生においては、地域に「貢献する」ことに視点を置きたい。小学校の地域学習と連動した深まりのある学習や活動に取り組み、地域の期待や希望に応える。

### 【豊田中学校として】

令和4年度の積み重ねを土台に、令和5年度の教育課程を編成するとともに、不断の見直しと柔軟な対応を信条に、生徒の可能性を伸ばす教育の実践に努める。今年度の取組が今後の豊田中学校にとって、人が変わっても続く「持続可能な豊田中ならではの教育」の礎となるよう努力したい。

さて、本校生徒の課題として「表現力」が挙げられてから数年が経つ。それとともに、新学習指導要領の実施、GIGAスクール構想、SDGsなど、目まぐるしく進化する教育にも対応すべく、研修や実践を通して、表現力の伸長に努めてきた。その中で、新型コロナウイルス感染症の流行は、まさに「予測不可能な時代」を実感させるものであり、長く続いてきた学校教育のあり方を否応なしに見直すきっかけとなった。新しい教育のために、「足すもの」と「なくすもの」そして「継続するもの」がこれほどまでに明らかになった時代があっただろうか。

「集団」で学ぶ良さを生かしながら、「個」の学びを保証する令和の学校教育において、学校経営をする上で次の2点を大切にしたい。一つは「自己決定力」の育成である。集団思考における共通の課題を見出し、その中で自分は何をすべきかを考え（意志決定）、行動に移す（個人の実践）ことを繰り返すことで身につけさせたい。授業はもとより、学級活動や委員会活動などの「協働」を通して、「自分で決め行動に移す」ことを学ばせたい。もう一つは「自己指導能力」の育成である。自己指導能力とは、児童生徒自らがその時の状況を判断し、適切な行動を積極的に表出したり、あるいは状況に合わせて行動を抑制したりする力である。教育活動のあらゆる場で生徒が主体的・自主的に活動できることを通して身につけさせたい。そのためには、効果的な評価活動（自己評価・相互評価・教師による評価）を実践することも重要である。「自己決定力」も「自己指導能力」も、どちらも生徒指導的な言葉ととらえがちだが、この力が学力向上にもつながると信じている。個から集団へ、そしてまた個へ学びがつながる、そんな教育の実践を大切にしたい。

今、学校組織も大きな変容が求められている。教職員の大量退職と教員不足、ICT能力の向上、ミドルリーダーの育成、働き方改革、部活動の地域移行等々、どれもが解決に多くの時間を有するだろう。感染症、紛争、物価上昇など、社会の情勢も不安定である。

このような時代だからこそ、新しい教育の課題を明らかにし、学校や教職員は勇気をもって新たな挑戦の海へ漕ぎ出さなくてはならない。ただし、それがただの挑戦で終わるのではなく、前述のとおり「持続可能な教育活動」への土台となるよう教職員の総力を結集し取り組みたい。

## 6 学校教育目標実現のための基本方針

### (1) 「思いやりのある子ども」の育成に向けて

#### ①主体的に判断し、行動する

---

- 規範意識の向上と基本的な生活習慣の定着
- 組織として機能する積極的生徒指導の充実
- 生徒の自治的活動を柱とした学校行事・体験活動・交流活動の実施
- 「考え議論する道徳」教育の実践
- 自ら考え取り組む清掃活動の実践

#### ②自他を大切にできる

---

- 個が生きる集団活動の実践「みんながよく、自分もよいこと」（居がいのある集団づくり）
- 一人一人の教育的ニーズに合わせた特別支援教育の充実
- 「いじめ」をはじめとする問題行動等の未然防止と早期発見・早期対応
- 多様性を受け止め、互いを尊重し合うインクルーシブ教育の推進

#### ③夢をもって自分の成長を実感できる

---

- キャリア教育の充実（キャリアパスポートの活用）
- 勤労観や職業観を育むキャリア教育・体験活動の充実
- 自己理解力を促す教育活動の工夫「自分の強み・弱みはなにか」

### (2) 「自ら考え学ぶ子ども」の育成に向けて

#### ①自分で思いや考えをまとめ、表現できる

---

- 自己肯定感※7や自己効力感※8を高める特別活動の充実
- 主体的に学び、表現できる力を育む教育活動の工夫
- ICT機器等の積極的活用の実践（思考ツール・プレゼンテーション技術の習得）
- 学び合うための環境整備（T's Gallery・発表の場の設定等）

#### ②確かな学力（資質・能力）を身に付ける

---

- 9年間を見通した系統性を意識した教科指導の充実
- 個に応じた指導の充実（特別支援教育の充実）
- 新学習指導要領のねらいを生かした指導と学習評価の一体化
- 学び合う集団づくりの実践（個→集団→個）

#### ③めあてをもって自分から学習する

---

- 単元を見通しての1時間1時間を大切に授業の実践
- 問題解決型学習のプログラムや体験活動の積極的な導入
- 豊田スタンダード（学習の約束）の推進（家庭学習・読書活動の奨励も含む）

### (3) 「たくましい子ども」の育成に向けて

#### ①元気よくあいさつができる

---

- 豊田スタンダード（生活のきまり）の徹底
- 家庭及び関係機関との連携
- あいさつ運動の奨励

## ②自ら運動し、めあてに向かって体力向上に取り組む

---

- 計画的な体育行事を企画運営
- 運動の日常化を推進（休み時間、放課後等の活用）
- 新体力テスト、アンケートの結果活用（個々の課題解決を促進・生活習慣の改善）
- 部活動地域移行への準備

## ③健康安全に気を付けて生活できる

---

- 9年間を見通した健康教育・安全教育の充実（危機回避能力の育成）
- 地域の実情にあった防災教育の充実
- 自他の生命を大切にする教育の推進

## （４）「ふるさとを大切に子ども」の育成に向けて

### ①地域とともに学ぶ

---

- 豊田コミュニティ・スクール構想の推進
- 豊田地域協育ネットにおける協働の推進※4
- 総合的な学習の時間を柱とした「豊学」の構築

### ②ふるさとに誇りをもつ

---

- 小中一貫教育の充実
- 豊田小中一貫校アクションシートの実践

### ③地域の一員として貢献できる

---

- 小中合同ボランティア活動の実施
- 自治活動の促進（地域行事等における児童生徒による自主運営の促進）

#### ◆重点内容

- （１）確かな学力の育成に向け、基礎基本の確実な定着を目指した指導法の工夫改善を行い、自ら学び考え、豊かに表現できる生徒を育てる。
- （２）特別活動を核とした積極的な生徒指導を展開し、集団で学ぶよさを味わう中で、自律的に行動し、よりよく人と関わることができる生徒を育てる。
- （３）キャリア教育の充実によって、夢を持ち、自分の進路や生き方を主体的に選択・決定できる生徒を育成する。
- （４）「豊学」や地域学校協働活動の実践によって、地域のよさを感じ、誇りを持ち、地域に貢献する生徒を育成する。
- （５）「自律・夢・地域」を柱に、9年間を見通した系統性や一貫性のある教育活動を実践し、持続可能な「豊田ならではの」の小中一貫教育を創造する。